

特別研究会（東洋音楽学会・日本音楽学会共催）

UCLAラテン・ワールド・ ミュージック・コンサート

（特別来日公演）



特別ゲスト: 森村 献



MARCH.
22.
2026

15:00-17:00(開場14:30)

入場無料・要申込 (3/21 5PM ✕)

お申込みは「日本音楽学会東日本支部」ウェブサイト、
またはこちらのリンク/QRコードよりお願いします。

<https://forms.gle/7UQZ6EJdGbFd8EEfA>



VENUE:

東京藝術大学第1ホール

お問い合わせ: 早稲田みな子 (minako.waseda@gmail.com)

UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）ラテン・ワールド・ミュージック・アンサンブルは、UCLAハーブ・アルパート音楽学校の教授陣および卒業生を中心に、グラミー賞ノミネート経験者（ジャズ・ヴァイオリン）やタブラ（インドの打楽器）奏者も含む一流の音楽家により構成されたグループです。アンサンブルを率いるのは、同校の音楽民族学およびグローバル・ジャズ・スタディーズの教授、スティーヴン・ローザ博士。

本コンサートではラテン・ジャズ、サルサ、チカーノ音楽（Chicanx music）を含む多様なラテン音楽を、実験的な試みも交えて紹介します。

UCLA LATIN WORLD MUSIC ENSEMBLE



Director:

Dr. Steven Loza

Professor of Ethnomusicology and Global Jazz Studies
The UCLA Herb Alpert School of Music
Trumpet, Vocals

MEMBERS:



Regina Carter
Jazz Violin (グラミー賞ノミネート)



Simeon Pillich
Bass (UCLA 出身)



Clayton Cameron
Drums (UCLA 教授)



Hitomi Oba
Saxophone (UCLA 教授)



Abhiman Kaushal
Tabla (UCLA 教授)



Salim Washington
Saxophone (UCLA 教授)



Nick DePinna
Trombone (UCLA 教授)

Gregory Esparza
Vocals (UCLA出身)

Charlie Tovar
Congas (コミュニティミュージシャン)



SPECIAL GUEST:

森村献(ピアノ・編曲家)

ラテンジャズ界のマエストロとして「熱帯ジャズ楽団」や「Orquesta Del Sol」で活躍。現在は“交響楽とラテン”をテーマに、新たな表現の境地を開拓している。海外公演も多数。